

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

平成27年度の実績

島根中央信用金庫は、地域社会の発展に貢献し、ともに成長することを経営理念に定めています。中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みにおいて、地域の中小企業や個人のお取引先等に対し円滑な資金提供をするとともに、ニーズや課題に合わせたきめ細かな対応をおこなっていくことで、信用金庫としての「使命」を果たしてまいりました。しかしながら、地域経済は、高齢化や人口減少、空洞化といった従来からの構造的な課題を抱えており、私どもの主要な取引先である中小零細企業の多くは、いまだ業況の改善を見るに至っておりません。そのような中、個人消費の低迷により売り上げ不振や収益の悪化など事業活動をめぐる状況は引き続き厳しい状況にあります。こうした状況の下、当信用金庫は会員たる中小企業等の皆様に必要な資金を安定的に供給し、必要に応じ経営改善支援を行うなど、課題解決型金融の実践に努め、地域とともに歩んでおります。

□顧客のライフステージ等に応じた支援

1. 経営改善支援指導の強化の取組みにおいて、中小企業再生支援協議会との連携、外部機関と協力し、経営アドバイスや改善策、経営情報等を提供する経営セミナー（個別相談会含む）を開催し、経営改善支援体制を構築し、経営改善計画策定支援に取り組んでいます。

経営セミナー	島根県、ITコーディネーター協会、島根中央信用金庫主催、出雲市、信金中央金庫後援のIT活用術セミナー 平成27年11月17日：41名参加 ・テーマ「今からでも遅くない！IT有効活用の成功経営」
	日本政策金融公庫との共催経営力向上セミナー 平成28年3月8日：29名参加 ・「成功する商品・サービスには理由がある！！」
外部連携	島根県経営力強化アドバイザー派遣事業、信用保証協会スキルアップサポート、しまね産業振興財団 ミラサポなど68件の外部連携を実施

2. 情報提供機能の強化並びに経営相談能力の向上の取組みでは、信用金庫業界と協力し、取引先の販路拡大のためビジネスフェアマッチングサービスを実施しております。

城南信用金庫主催 「2015“よい仕事おこし”フェア」（東京国際フォーラム）	平成27年9月8日～9日：1社参加
「広島県信用金庫合同ビジネスフェア2015」 （広島県立総合体育館 広島グリーンアリーナ）	平成27年11月17日：1社参加
中海・宍道湖・大山圏域連携事業による「ビジネスマッチング商談・展示会2015in出雲」（出雲ドーム）	平成27年10月29日：35社参加
全国ギフト・雑貨・工芸品大商談会（城南信用金庫本店）	平成27年11月12日～13日：1社参加

3. 創業・新事業支援の強化の取組み

創業・新事業支援	28件 174百万円
----------	------------

4. 成長段階支援実績

販路開拓・新製品開発等支援	13件
---------------	-----

5. 事業承継・M&A 支援実績

事業承継支援	3 件
M&A につながった支援	1 件

6. 不動産担保や個人保証に必要以上に依存しない融資実績

動産・債権譲渡担保融資実績	14 件 955 百万円
---------------	--------------

7. 経営者保証ガイドラインに基づく財務特約条項付き融資

停止条件付連帯保証契約	4 件 185 百万円
-------------	-------------

□地域の面的再生への積極的参加

地域の問題・課題解決のために取り組む事業に対する融資、NPO への融資など、商工会議所等と協力して、創業新事業の公的補助金、公的支援の活用アドバイスなどを実施しています。又、商店街の活性化支援、観光産業の活性化支援、アドバイザー派遣、中小企業再生支援協議会との連携、観光スポットの紹介やイベントの開催等を実施しています。

1. 信用金庫ネットワークを利用した年金旅行・旅行友の会の島根県への誘致

年金旅行・旅行友の会	5 信用金庫 1,845 名
------------	----------------

2. 地域の問題・課題解決のために取り組む事業への積極的参加

地域の面的再生へ積極的参加	6 件
---------------	-----

□経営改善支援の取組み実績

経営改善支援の取組みは、支援対象先 65 先のうち、支援先および実抜計画策定先 44 先に対して取組みを行い 1 先のランクアップとなりました。また、44 先全先改善計画策定済みとなりました。

平成27年度島根中央信用金庫			期初 債務者数	うち経営改善 支援取組み数	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数			経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画策 定率
					αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	αのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	αのうち再生 計画を策定し た先数			
			A	α	β	γ	δ	α / A	β / α	δ / α
正常先		①	1,481	1		1	1	0.1%	0.0%	100.0%
要注意先	うちその他要注意先	②	345	37	0	35	37	10.7%	0.0%	100.0%
	うち要管理先	③	5	0	0	0	0	0.0%	－	－
破綻懸念先		④	174	5	1	4	5	2.9%	20.0%	100.0%
実質破綻先		⑤	68	1	0	1	1	1.5%	0.0%	100.0%
破綻先		⑥	24	0	0	0	0	0.0%	－	－
	小計(②～⑥の計)		616	43	1	40	43	7.0%	2.3%	100.0%
合 計			2,097	44	1	41	44	2.1%	2.3%	100.0%

- ・期初債務者数及び債務者区分は27年4月当初時点で整理しております。
- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含みます。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
- ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。
- ・「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」